

救 助



救助業務の状況

本市の救助業務体制は、平成7年4月から4署体制とし、各署に救助隊を配置しています。

教育訓練は、救助隊教育訓練実施計画に基づき、年間及び月間実施計画を定めて気力、体力の充実強化を図り、隊員の技能向上に努めています。

なお、平成14年から特殊災害（生物剤、化学剤に起因する事故等）に対応する資器材の整備強化を図るとともに、近年多発する大規模自然災害やテロ等の特殊災害に迅速的確に対応するため、人命救助に関する高度な知識・技術を身につけた隊員で構成する高度救助隊（スーパーレスキュー松山 2隊14名）を平成18年4月に創設し、中央消防署に配置しました。

救助隊の編成

(総員51名 車両10台) (令和5年4月1日現在)

		隊 編 成			人 員	配 置 車 両
高度 救助 隊	中央 消防 署	一部	隊長 隊員	1 6	名 名	救助工作車Ⅲ型 (2.9tクレーン付) 特殊災害資機材車
		二部	隊長 隊員	1 6	名 名	
特 別 救 助 隊	東消 防署	一部	隊長 隊員	1 6	名 名	救助工作車Ⅱ型 (2.9tクレーン付) 小型動力ポンプ付軽積載車
		二部	隊長 隊員	1 5	名 名	
南 消 防 署	一部	隊長 隊員	1 5	名 名	救助工作車Ⅱ型 (2.9tクレーン付)	
	二部	隊長 隊員	1 5	名 名		
西 消 防 署	一部	隊長 隊員	1 5	名 名	救助工作車Ⅱ型 (2.9tクレーン付) 大型高所放水車 小型動力ポンプ付積載車 拠点機能形成車 消防ポンプ自動車 (中島支所)	
	二部	隊長 隊員	1 5	名 名		



中央消防署 救助工作車Ⅲ型



南消防署 救助工作車Ⅱ型

救助出動等の状況

令和4年中の救助出動件数は、248件（前年213件）、活動件数は、192件（前年159件）であり、前年と比較すると、出動件数は35件（16.4%）、活動件数は33件（20.8%）増加しています。

また、救助人員は152人（前年133人）で、前年と比較すると、19人（14.3%）増加しています。

（各年中）（▲減少）

区 分		令和4年	令和3年	増減（A－B）	増減率
		A	B	C	(C÷B×100)%
出 動 件 数		248	213	35	16.4
活 動 件 数		192	159	33	20.8
救 助 人 員		152	133	19	14.3
内 訳	男性	79	71	8	11.3
	女性	73	62	11	17.7
出 動 台 数		1,370	1,223	147	12.0
出 動 人 員		4,477	4,136	341	8.2
事 故 種 別 出 動 件 数	火 災	19	17	2	11.8
	交 通	42	36	6	16.7
	水 難	8	14	▲ 6	▲ 42.9
	自 然 災 害	0	1	▲ 1	▲ 100.0
	機 械	1	8	▲ 7	▲ 87.5
	建 物	129	104	25	24.0
	ガ ス ・ 酸 欠	3	4	▲ 1	▲ 25.0
	破 裂	0	0	0	—
	そ の 他	46	29	17	58.6

（注）火災での出動件数は、救助活動を行った件数のみ計上しています。

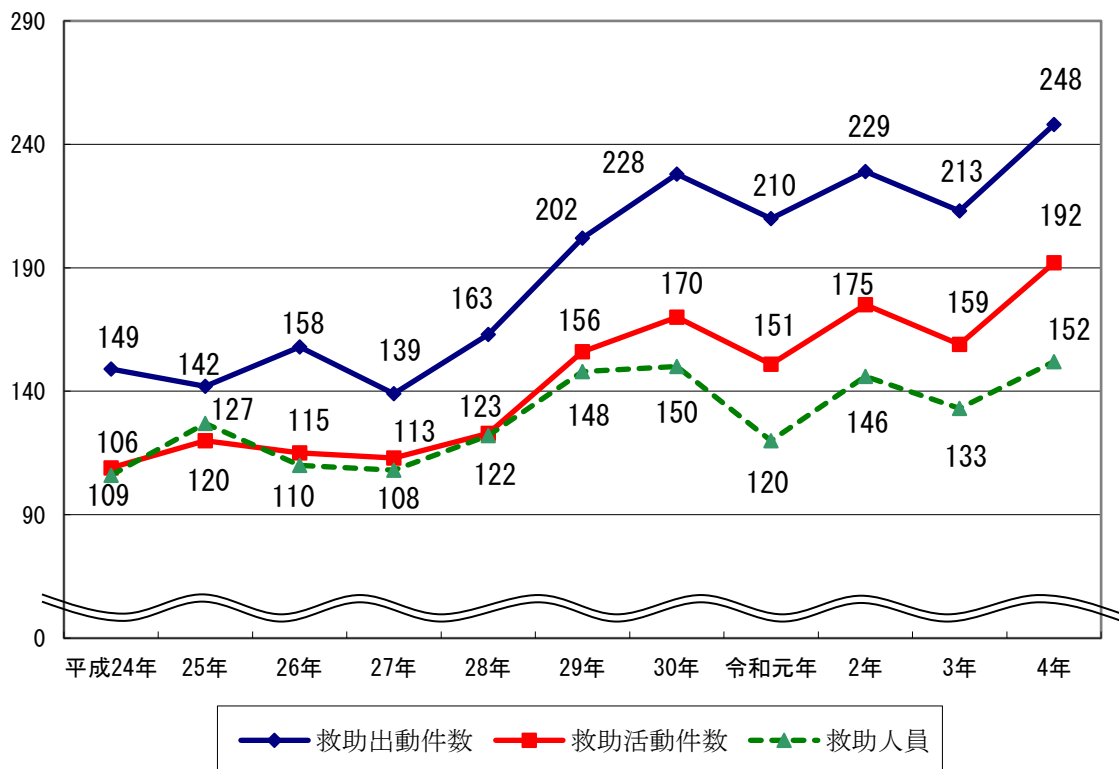
救助出動等の推移

10年前の平成24年を指数100とした場合、出動件数166、活動件数176、救助人員143となっています。

(各年中) (▲減少)

区分 年	救 助 出 動 件 数			救 助 活 動 件 数			救 助 人 員		
	件数	指数	対前年 増減率 (%)	件数	指数	対前年 増減率 (%)	人数	指数	対前年 増減率 (%)
平成24年	149	100	—	109	100	—	106	100	—
平成25年	142	95	▲ 4.7	120	110	10.1	127	120	19.8
平成26年	158	106	11.3	115	106	▲ 4.2	110	104	▲ 13.4
平成27年	139	93	▲ 12.0	113	104	▲ 1.7	108	102	▲ 1.8
平成28年	163	109	17.3	123	113	8.8	122	115	13.0
平成29年	202	136	23.9	156	143	26.8	148	140	21.3
平成30年	228	153	12.9	170	156	9.0	150	142	1.4
令和元年	210	141	▲ 7.9	151	139	▲ 11.2	120	113	▲ 20.0
令和2年	229	154	9.0	175	161	15.9	146	138	21.7
令和3年	213	143	▲ 7.0	159	146	▲ 9.1	133	125	▲ 8.9
令和4年	248	166	16.4	192	176	20.8	152	143	14.3

(件/人)



事故種別・署別出動の状況

事故種別ごとに救助活動の状況をみると、出動件数で最も多いのは、建物等による事故の129件で、全体の52.0%を占め、次いでその他の事故の46件(18.5%)となっています。

活動件数で最も多いのは、建物等による事故の100件で、全体の52.1%を占め、次いでその他の事故の33件(17.2%)となっています。

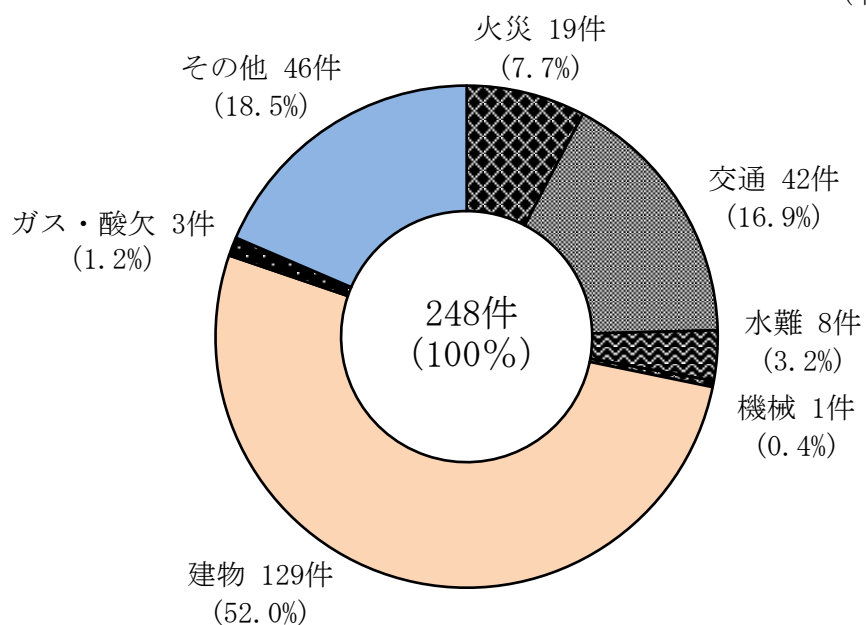
また、救助人員についても、建物等による事故が最も多く75人で、全体の49.3%を占め、次いでその他の事故の33人(21.7%)となっています。

(令和4年中)

事故種別 署別		火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ	合
		災	通	難	然	械	物	ス ・ 酸 欠	裂	他	計
中央 消 防 署	出動件数	9	15	2			48	2		13	89
	活動件数	9	13	2			38	2		10	74
	救助人員	1	13	2			27	2		11	56
	出動台数	101	70	15			238	13		57	494
	出動人員	380	230	48			761	41		180	1,640
東 消 防 署	出動件数	4	6			1	25	1		11	48
	活動件数	4	6			1	19	1		9	40
	救助人員	0	7			1	16	1		8	33
	出動台数	44	29			6	123	7		59	268
	出動人員	184	93			18	386	20		184	885
南 消 防 署	出動件数	4	12				40			13	69
	活動件数	4	5				31			9	49
	救助人員	1	4				22			9	36
	出動台数	47	59				200			60	366
	出動人員	180	181				624			192	1,177
西 消 防 署	出動件数	2	9	6			16			9	42
	活動件数	2	6	4			12			5	29
	救助人員	2	7	3			10			5	27
	出動台数	19	50	48			82			43	242
	出動人員	86	151	154			247			137	775
合 計	出動件数	19	42	8	0	1	129	3	0	46	248
	構成比(%)	7.7	16.9	3.2	0.0	0.4	52.0	1.2	0.0	18.5	100.0
	活動件数	19	30	6	0	1	100	3	0	33	192
	構成比(%)	9.9	15.6	3.1	0.0	0.5	52.1	1.6	0.0	17.2	100.0
	救助人員	4	31	5	0	1	75	3	0	33	152
	構成比(%)	2.6	20.4	3.3	0.0	0.7	49.3	2.0	0.0	21.7	100.0
	出動台数	211	208	63	0	6	643	20	0	219	1,370
出動人員	830	655	202	0	18	2,018	61	0	693	4,477	

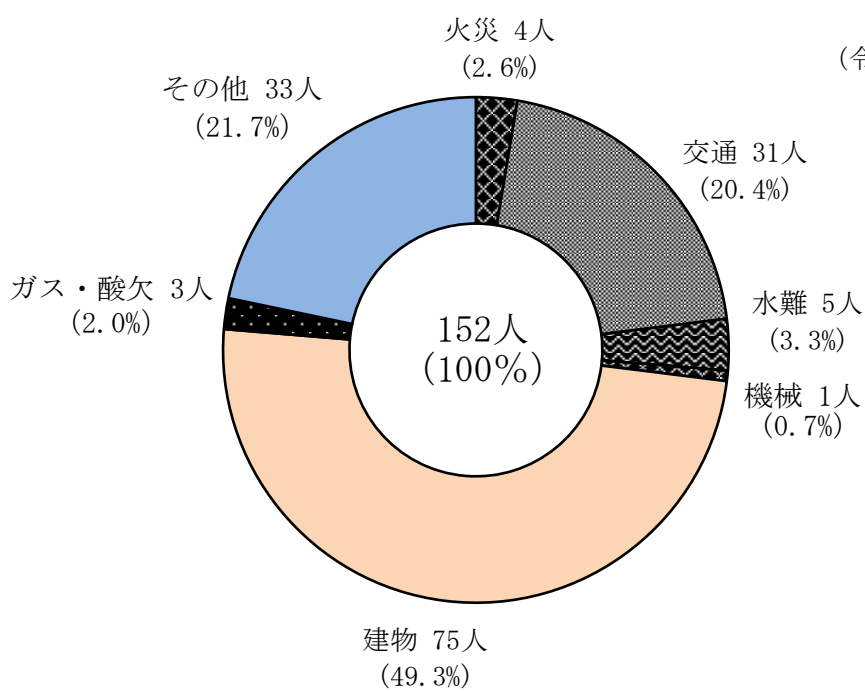
事故種別出動件数と構成割合

(令和4年中)



事故種別救助人員と構成割合

(令和4年中)



月別救助出動等の状況

月別に出動の状況をみると、1月が最も多く27件で、次いで5月と11月の24件となり、月平均20.7件の出動となっています。

(令和4年中)

区分 月別	出動件数	活動件数	救助人員	事故種別出動件数								
				火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他
1月	27	22	17	4	4	1		1	12	1		4
2月	16	16	10	2	3				10	1		
3月	23	19	15	1	1	4			12			5
4月	21	16	13	2	3				11			5
5月	24	17	14	1	3				14	1		5
6月	20	17	15		6				11			3
7月	21	14	10	1	5				11			4
8月	21	15	13	2	3				12			4
9月	20	16	13	2	1	1			11			5
10月	13	9	9		2				5			6
11月	24	16	11	2	5	2			11			4
12月	18	15	12	2	6				9			1
合計	248	192	152	19	42	8	0	1	129	3	0	46

事故種別・傷病程度別救助人員

救助人員を事故種別・傷病程度別でみると、建物等による事故の中等症が34人(22.4%)と最も多く、次いで建物等による事故の軽症の29人(19.1%)、交通事故の軽傷の17人(11.2%)の順になっています。

(令和4年中)

区分	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災		2			2	4
交通			2	7	17	31
水難		3			2	5
自然						0
機械				1		1
建物		1	1	34	29	75
ガス・酸欠		1		2		3
破裂						0
その他		3	2	9	11	33
合計		12	5	53	59	152

発生場所別の出動状況

発生場所別に出動の状況をみると、屋内が151件で、出動件数全体の60.9%を占め、屋外は97件で39.1%となっています。

(令和4年中)

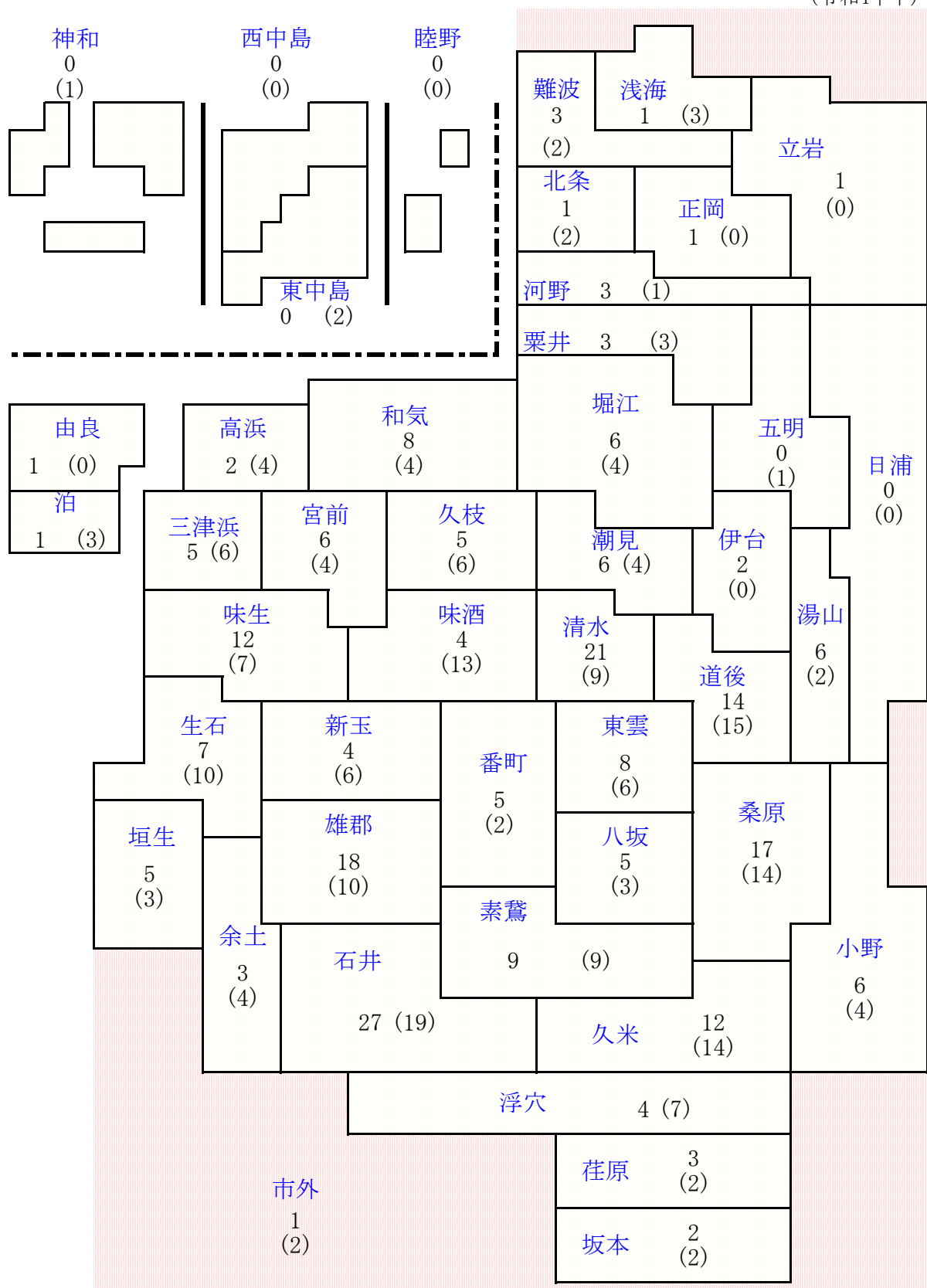
発生場所別	事故種別		交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他	合計
	建物	建物以外									
屋 内	19				0	0	127	2		3	151
	4				0	0	73	2		2	81
住 居	18						122	2		1	143
	4						69	2		1	76
その他の屋内	1						5			2	8
							4			1	5
屋 外			42	8		1	2	1		43	97
			31	5		1	2	1		31	71
高 速 道 路			1								1
											0
その他の道路			27							5	32
			20							3	23
内 水 面			2	1						2	5
			2	1						2	5
外 水 面				7							7
				4							4
山 岳										1	1
										1	1
その他の屋外			12			1	2	1		35	51
			9			1	2	1		25	38
地 下											0
											0
そ の 他											0
											0
合 計	19	0	42	8	0	1	129	3	0	46	248
	4	0	31	5	0	1	75	3	0	33	152

(注) 救助人員数

地区別救助出動状況

出動件数 248件 (前年 213件) ※ () 内は前年の発生状況

(令和4年中)



救助隊員の訓練実施状況

(令和4年中)

訓練種別		体力練成・訓練	ロープ基本・応用訓練	検索・救助訓練	各種救助器具取扱訓練	各種救助事象想定訓練	その他の訓練	合計
区分								
中央消防署	実施延回数(回)	1,094	33	120	145	153	2	1,547
	実施延人員(人)	4,458	130	466	541	624	7	6,226
	延実施時間(時間)	547.0	41.5	159.5	206.0	241.0	3.5	1,198.5
東消防署	実施延回数(回)	1,101	129	108	81	75	6	1,500
	実施延人員(人)	4,656	604	456	328	309	26	6,379
	実施延時間(時間)	550.5	324.0	210.3	110.8	160.6	12.0	1,368.1
南消防署	実施延回数(回)	1,083	163	116	70	74	8	1,514
	実施延人員(人)	4,512	732	458	267	301	30	6,300
	実施延時間(時間)	564.5	532.0	197.0	83.0	135.0	14.0	1,525.5
西消防署	実施延回数(回)	965	20	76	91	125	13	1,290
	実施延人員(人)	4,035	82	330	382	519	60	5,408
	実施延時間(時間)	482.5	29.5	111.5	99.5	235.0	36.0	994.0
合計	実施延回数(回)	4,243	345	420	387	427	29	5,851
	実施延人員(人)	17,661	1,548	1,710	1,518	1,753	123	24,313
	実施延時間(時間)	2,144.5	927.0	678.3	499.3	771.6	65.5	5,086.1

消防救助技術大会

第7回愛媛県消防救助技術大会

- ① 実施日：令和4年6月3日(金)
- ② 実施場所：愛媛県松山市勝岡町1163番地15 愛媛県消防学校

第50回消防救助技術四国地区指導会

- ① 実施日：令和4年7月23日(土)
- ② 実施場所：香川県高松市生島町689番地11 「香川県消防学校」
【陸上の部】香川県消防学校 【水上の部】香川県消防学校プール

第50回全国消防救助技術大会

- ① 実施日：令和4年8月26日(金)
- ② 実施場所：
【陸上の部】東京都立川市泉町935 立川立飛特設会場
【水上の部】東京都立川市泉町1156-1 東京消防庁第八消防方面訓練場

国際消防救助隊（IRT）

海外で大規模な災害が発生した場合に、被災国からの要請に応じて、救助活動、医療活動、災害応急対策・災害復旧のための活動を行うために組織される部隊を国際緊急援助隊と言ひ、そのうち救助活動に従事する消防救助チームが国際消防救助隊と呼ばれます。

国際消防救助隊は、英語で「International Rescue Team of Japanese Fireservice」、略称「IRT-JF」とし、愛称が「愛ある手」とされています。

現在IRTは、全国の消防本部のうち77消防本部から選抜された599名の救助隊員で構成され、松山市消防局からは6名の救助隊員が登録されています。



令和4年度国際消防救助隊連携訓練
(熊本県熊本市 熊本市消防局 益城西原消防署)

MEMO